スリムダクト MD
仕　様　書

２０１４年　１０月　１日

因幡電機産業株式会社
技術開発センター

１．適　用

・本仕様書はスリムダクト MD シリーズ（室内施工用）に適用します。
・スリムダクト MD シリーズは、難燃材料を使用しています。
（塩化ビニル製以外のパーツを除く）

２．製品仕様

製品仕様を 表－１、２ に示します。

表－１

項目	サイズ		
	７５		８５
色調	アイボリー (マンセル 2.5Y8.95/1, 日塗工 C19-90A)	ネオホワイト (マンセル N9.0, 日塗工 N-90)	ネオホワイト (マンセル N9.0,日塗工 N-90)
収納能力 目安	φ6.35×φ9.52～φ6.35×φ12.70＋DSH-14		φ6.35×φ9.52～φ6.35×φ12.70＋DSH-14 ＋換気ホース（φ37 以下） 又は φ6.35×φ9.52～φ9.52×φ15.88＋DSH-14
使用温度範囲	－20～60℃		

表－２

品　　名	型　番	サイズ		用　途	材　質
スリムダクト MD	MD	75	85	直線ダクト	硬質 ポリ塩化 ビニル樹脂 (PVC)
ウォールコーナー	MW	75	85	壁面取出し	
ウォールコーナー エアコンキャップ用	MWM	75(S)	85	室内の壁貫通部 からの取り出し	
		75(L)			
スライド式 ウォールコーナー	MWS	75(L)	85	はりや壁ぎわなどの 壁貫通部からの取出し	
平面コーナー 90°	MK	75	85	平面 90°曲り	
平面コーナー 45°	MKF	75	85	平面 45°曲り	
ひねり 90°エルボ	MN	75	85	ひねり 90°曲り	
立面インコーナー 90°	MCI	75	85	立面内曲り 90°	
立面アウトコーナー 90°	MCO	75	85	立面外曲がり 90°	
立面アウトミニコーナー	MCOM	75	85	立面外曲がり 90°	
立面スライドコーナー	MCS	75	85	段差継手	ABS
ジョイント	MJ	75	85	直線継手	硬質 ポリ塩化 ビニル樹脂 (PVC)
T型ジョイント	MT	75	85	分岐用	
フリーコーナージョイント	MFJ	—	85	フリーコーナー継手	
フリーコーナー	MF	75	85	自在継手	PE + EVA
シーリングキャップ	MP	75	85	天井・壁からの 取り出し	75：ABS
					85：PVC
端末ゴムカバー	MG	75	85	室内機からの取り出し	合成ゴム
端末カバー	MS	75	85	室内機からの取り出し	PVC+合成ゴム

３．施工要領

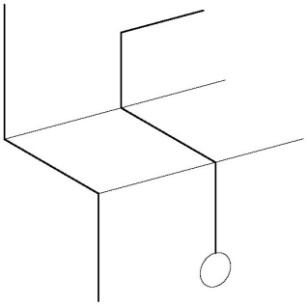
スリムダクト MD の施工手順を 図－１ に示します。

(1) 墨出し
↓
(2) 継手の底部を取付け
↓
(3) スリムダクト MD の寸法出し及び切断
↓
(4) スリムダクト MD の底部を取付け
↓
(5) 配管施工
↓
(6) スリムダクト MD 及び継手のフタ部を取付け

図－１　施工手順

(1) 墨出し（図－２）

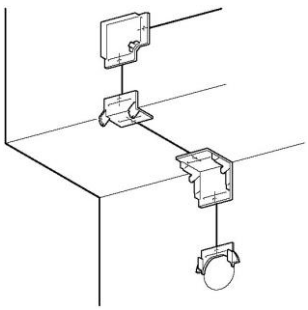
貫通穴から室内機配管接続部までのスリムダクト MD の経路を確認し、センター線を墨出しします。



図－２

(2) 継手の底部を取付け（図－３）

スリムダクト MD の経路で使用する継手の底部を(1)で墨出ししたセンター線に合わせてビス止めします。



図－３

(3) スリムダクト MD の寸法出し 及び 切断

(2)で取付けた継手同士の間隔に継手への入り込み寸法を加えた寸法で、スリムダクト MD を金ノコや推奨切断工具で切断します。

推奨切断工具

工具メーカー	品名	型番
㈱MCC コーポレーション	エアコンダクトカッタ 101	ADC-101
トップ工業㈱	ダクトカッター	DC-100M
花園工具㈱	エアコンダクトカッタ	VD2200

※ 使用時にはカッター付属の取扱説明書を良く読んでご使用ください。

(4) スリムダクト MD の底部を取付け

スリムダクト MD 底部の半抜き穴をドライバーの先端等を使用して抜きます。
次に、スリムダクト MD 底部を壁面にビス止めしていきます。
ビス止めピッチは１m以内になるように施工してください。

(5) 配管施工

冷媒管、ドレンホース、ケーブルがよじれない様にダクト内に納めながら配管していきます。特にドレンホースは排水勾配が必ず保てる様に配管して下さい。

（注）フリーコーナーをご使用の際は、先に配管をフリーコーナーに通してから施工してください。

(6) スリムダクト MD 及び継手のフタ部を取付け

スリムダクト MD のフタ部をはめ込んだ後、継手のフタ部をはめ込みます。
なお、ウォールコーナーのみはめ込んだあとに壁面へビス止めしてください。

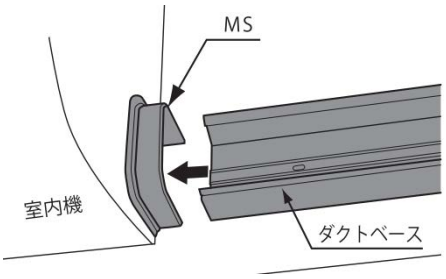
４．特記事項

(1) 端末カバー（MS）

施工手順

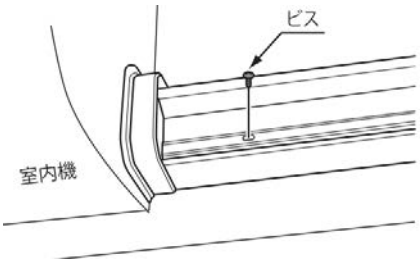
①MS を室内機配管口に合わせた後ダクトベースを MS に軽く押し当て位置を決めてください。

※ダクトベースを MS に強く押し当てないでください。施工手順③(MS の取り外し)が困難になります。



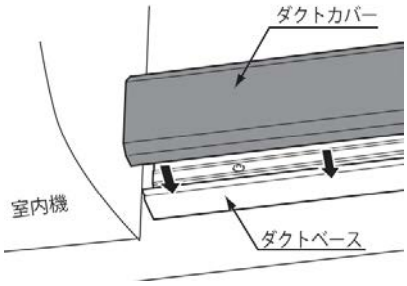
②ダクトベースをビス止めしてください。

※ビス止めする際に、MS が取り外せることを必ず確認してください。



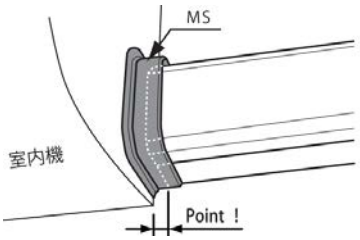
③MS を取り外し、配管施工後ダクトカバーを取り付けてください。

※ダクトカバーもダクトベースと同様の隙間をあけてください。



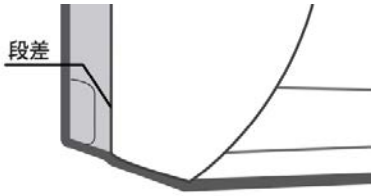
④ダクトカバーの上から MS をかぶせて施工完了です。

※ツバが室内機よりはみ出る場合は、ハサミ等で切り取りください。



注意

・室内機側面に段差がある場合、段差形状によってはツバが段差に馴染まず、隙間が生じる場合があります。



(2) フリーコーナー（MF）

注意

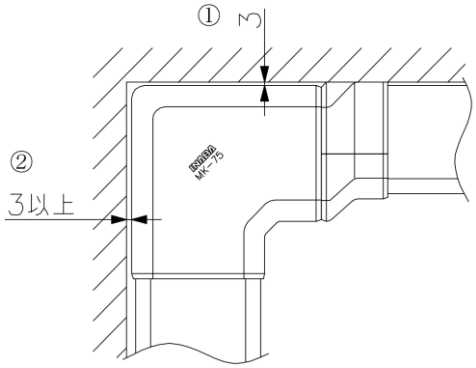
・MF の蛇腹の谷部を MFJ のツメときちんとかん合させてご使用ください。

(3) ひねり 90° エルボ (MN)

注意

①ひねりエルボの取付け壁面について、MK-75 は壁から『3mm』離して取付けて下さい。
この位置でないと、ひねりエルボが取付けられません。

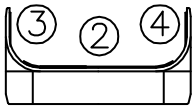
②ひねりエルボの取付け壁面と反対側の壁面について、MK-75 は壁から『3mm 以上』離して取付けて下さい。これ以下ですと、MK-75 のフタが取付けられません。

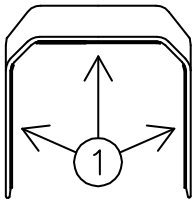


(4) 端末ゴムカバー (MG)

施工手順

・②③④の面が室内機に隙間なく接する位置に貼付け位置を決めてください。
この時、スリムダクト MD のフタがコーナーパーツの差込みしろの奥まで届いていることを確認してください。
・スリムダクト MD のフタに対して①で粘着固定してください。
・室内機に対して②→③→④の順に固定してください。
・粘着テープを隙間なく確実に押さえてください。





注意

・取付け部に段差のある室内機や R25 以上の曲面に取付ける場合は隙間ができることがあります。
・取付け部のホコリ・汚れは、はがれの原因となりますので、あらかじめ拭き取ってから施工してください。
・取付けの際は、きれいな手袋を装着し施工してください。ホコリ・ゴミが付着して美観を損ねることがあります。
・スリムダクト MD のフタが、コーナーパーツの差込みしろの奥まで届かない場合に、スリムダクト MD のフタが、MD 端末ゴムカバーに引張荷重を及ぼし、はがれの原因となることがあります。特に室内機の下部から配管を縦に取出す場合はご注意ください。
・作業温度は 5℃～40℃です。5℃を下回ると表面粘着力が低下しますので、温めてご使用ください。

５．注　意

- ダクト表面温度が－20℃～60℃の範囲内の環境下でご使用ください。60℃を超える場合は熱による変形の恐れがあります。
- 壁面固定用のビスは、座付きナベビスをご使用ください。皿ビス又はラッパビスで固定した場合、損傷する場合があります。
- インパクトドライバーをご使用の際には、取り扱いに十分ご留意ください。製品を損傷する場合があります。（トルクドライバーを使用することをお奨めします。）また、凹凸のある壁面に取付ける際は、特に製品の損傷の恐れがあるため、インパクトドライバーは使用しないでください。
- 配管は配管固定サドル（SL-300）などで必ず支持固定してください。

以上